

【注】 マップ内の情報はふるさとウォッチングを開催した2015年10月12日現在の内容です。

①細萱氏館址

中世以降、近在を治めたといわれる細萱氏の居館跡。四方を囲む堀は防御本来の用途のほか、湿地帯である同地の水抜き排水の意味もあったと推測されています。周回道路も見通しをわざと抑えるための線形とも考えられています。昭和初期に長野県史蹟に指定されましたが、現在は未指定。（個人所有地につき、無断立入りはご遠慮ください。）



敷地南東部の土塁跡

②堂沢川の微段丘

湿地帯で湧水の多かった細萱地区には周囲の水を束ねる堂沢川が流れ、集落北端で除沢と合流しています。水田や道路の高低差などから、存在したかつて微段丘の名残を垣間見ることが出来ます。古くは畔にお宮があったとされている宮沢にもかつては微段丘があり、堂沢川に合流しています。



道路にみられる高低差

③細萱洲波神社

細萱地区の産土神。読みは「すわ」で、古地図などには「諏訪神社」と表記されています。洲波の表記に至る経緯の詳細は不明ですが、日本書紀において諏訪神社は「須波」という字が当てられていること、細萱が湧水や堰といった水に深い関わりを持つ土地であることなどが関係しているのではないかと考えられています。



洲波神社 拝殿

④めがね橋記念碑

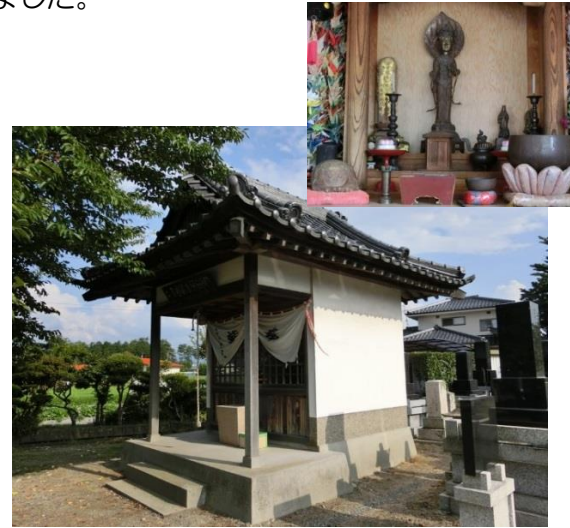
承応2年(1653)開削の矢原堰は木製の掛渡井で除沢の上を通過していましたが、大正10年(1921)に石橋が完成。除沢の水面に映る橋の姿からめがね橋と呼ばれ親しまれてきました。しかし、平成11年(1999)の豪雨災害で崩壊。平成21年(2009)に記念碑が建立されました。



めがね橋記念碑

⑤西浦霊園(正覚院跡)

洲波神社の北西、国道147号より西に入った除沢沿いにある市営の霊園。敷地内に観音堂が立っています。同地付近はかつて立興山正覚院という曹洞宗の寺がありましたが、明治4年(1871)に廃仏毀釈により廃寺となりました。



観音堂と観音菩薩

⑥飯沼飛行士記念館

昭和初期に活躍した同地出身の飯沼正明飛行士を顕彰する記念館。昭和12年(1937)、純国産機「神風」号の操縦士に選ばれ、東京ーロンドン間約15,357kmを約51時間19分23秒の世界記録で飛行することに成功。記念館では彼の偉業を紹介する当時の写真や新聞記事など、貴重な資料を見学出来ます。



国道からみた記念館

⑦玄播稲荷神社

安曇野のお稲荷さんでは規模の大きい神社です。稲荷神社といえば初午が有名ですが、同社も初午の祭日には市内外から大勢の参詣で賑わいを見せていたそうです。

境内社の社殿前にいるキツネは穀物を荒らすネズミ退治をしてくれる動物で、神の使いとしてまつられるようになったといわれています。



境内社とキツネ

除沢(万水川)

現在は地元住民だけでなく観光で訪れた人にもよく知られる万水川。その上流部分は古くから除沢(よけざわ)と呼ばれ、扇状地端部の湧水を源流としつつ、周辺から注ぎ込む用水路の払い水などを加えて犀川へと合流しています。かつては穂高町と豊科町(南穂高村)との村境にもなっていました。

また、国道147号にかかる除沢橋南詰は細萱の町並の北端にあたりますが、中世の町並でよく見られる鍵の手がこのあたりにあり、街道が屈曲していたそうです。

